

令和7年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策)
事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和7年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	備 考
			R7	R8	R9		
山口県	萩市	萩森の恵み活用推進協議会	●	○	□	A	

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

別紙2
(任意評価様式第3号)

令和7年度	事業開始 1年目	山口県萩市	萩森の恵み活用推進協議会
-------	-------------	-------	--------------

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）

取組年度	商品開発数	商品改良数	販売商品数	新規雇用者数
令和7年度	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※ 当該年度に開発等した数字を上段に、当該事業で開発等した総数を下段に括弧書きで記載して下さい。

○事業の実施状況

- 事業の全体構想（コンセプト）の構築
萩の空間やヒノキの素材特性等を踏まえ、関係事業者による協議のもと、「森となり」というコンセプト、ダイニング体験用の「HINOMA」というコンセプトを構築した。
- 事業の全体構想（コンセプト）に沿った木製品のプロダクトラインナップの決定、プロトタイプの製作
「森となり」というコンセプトに沿って、生活の道具としての木製小型品5点、木製大型品2点のプロダクトラインナップを決定し、プロトタイプを製作した。
- 事業の全体構想（コンセプト）に沿ったダイニングメニューの試作、モニター体験の実施
「HINOMA」というコンセプトに沿って、地域の豊かな食、森（ヒノキ）、まち（文化財）の魅力を感じられるダイニングメニューと体験の開発を行い、モニター体験を実施した。



○今後の事業構想

- プロダクト、ダイニング体験のブラッシュアップ（商品化）
プロトタイプとして製作した木製品及び試行したダイニング体験についてブラッシュアップや試験等を行い、商品化、販売を実施。
目標：商品開発数7点、ダイニング体験販売席数30席、販売額420千円
- 追加的な商品ラインナップの決定、プロトタイプの製作
商品群を増やしブランドを確立するため、追加的に木製品及びダイニング体験のR9年度での商品化を目指し、プロトタイプの製作等を実施。

別紙2

(任意評価様式第7号)

令和7年度	事業開始 1年目	山口県萩市	萩森の恵み活用推進協議会
-------	-------------	-------	--------------

商品開発等取組状況一覧

※ 事業開始年度から完了年度までの期間中に開発等を行う商品等の取組実績について、各年度毎に実施した取組をすべて選択してください。
※ 入力は評価年度分までです。これから事業を実施する年度分は入力不要です。

商品等名称	開発 区分	内容	取組実績					
			1年目（令和7年度）		2年目（令和8年度）		3年目（令和9年度）	
ダイニング体験（ver.1）	1.新規	4.体験プログラム	2.商品開発・改良					
			5.商品の市場分析調査					
			4.商品のブランディング					
木製品小型品（ver.1）（5点）	1.新規	3.工芸品	2.商品開発・改良					
			4.商品のブランディング					
木製品大型品（ver.1）（2点）	1.新規	3.工芸品	2.商品開発・改良					
			4.商品のブランディング					
ダイニング体験（ver.2）	1.新規	4.体験プログラム	9.未着手・取組なし					
木製品小型品（ver.2）（5点）	1.新規	3.工芸品	9.未着手・取組なし					
木製品大型品（ver.2）（2点）	1.新規	3.工芸品	9.未着手・取組なし					